

船舶積荷火災急増！ - 西日本防災システム

1

全国で昨年発生した貨物船の積荷火災は8件で、過去5年で**最多**となっているようです。中国などへ輸出する金属くずの中に、回収業者が使用済みの家電やオートバイを**違法に混入**させているため摩擦熱などで発火した例が多いとみられています。環境省が警戒を強めているようです。

10月9日、愛知県豊橋市の三河港に着岸していたカンボジア国籍の貨物船の積み荷から出火、乗務員の中国人らは無事でしたが、鎮火までに9時間以上かかったそうです。第4管区海上保安本部が調べたところ、積み荷の金属くずの中に家電が混在していたそうです。摩擦熱などの影響で発火した可能性があるそうです。洗濯機など外側がプラスチックで覆われた家電の場合、発火すると激しく燃えることがあるそうです。

第4管区海上保安本部によりますと、積み荷火災の発生件数は2008年は3件、2009年に1件でしたが、2010年と2011年は6件と急増しました。2012年は9月末から10月上旬にかけ、三河港を含め、大阪府貝塚市や関門海峡などで5件連続発生しています。海上保安庁は中国などへ向かう途中に積み荷の金属くずから出火したのが大半だったとみているようです。

環境省によると、**廃棄物処理法**は、使用済みの冷蔵庫や洗濯機などの家電を海外で処分する際、同省への届け出が必要と規定していますが、一部の回収業者は届け出の手間を避け、手数料を取って回収した家電などを金属くずと一緒に**無申告**のまま輸出しているようです。

環境省は2012年8月に各地の港で立ち入り調査を実施し、金属くずの中に使用済み家電が入っていた業者を注意したようです。同省によると、自治体の認可を受けていない回収業者もあり、業界全体の把握すらままならない状態だといいまます。

環境省担当者は「膨大な金属くずの中から家電などを見つけるのは非常に難しいが、監視を強化した結果、行政指導の件数は増えてきている。今後も対策を強化したい」と話しているそうです。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ



船舶積荷火災事例！ - 西日本防災システム

2

2012年9月19日 長崎

宇久島沖海上で貨物船から出火 乗組員全員救助

19日午前9時半ごろ、佐世保市の宇久島沖約60キロの海上で、カンボジア船籍の貨物船「DONG HE」(2327トン)から出火、倉庫の金属スクラップなどを焼いたようです。中国人乗組員12人を救助。けが人はありませんでした。佐世保海保によりますと、乗組員は中国人10人、ミャンマー人1人、インドネシア人1人の計12人です。船は金属スクラップ1500トンを積み、名古屋港から中国に向かっていたそうです。

2012年9月27日 大阪

27日夜に大阪府貝塚市沖で起きた貨物船火災は、28日午前も積み荷の金属くずが白煙を上げて激しく燃え続けて、海上保安庁が消火活動を継続しました。貨物船はパナマ籍の「HAO HAN」(約2000トン、全長約80メートル)で、鹿児島から堺泉北港に到着後、25日に金属くずを積み中国に向け出港しました。27日午後9時ごろに火災の通報を受けた同監部が、同10時20分ごろに中国人の乗組員12人を全員救助しました。

2012年10月5日 北九州市

関門海峡で貨物船の積み荷から出火、けが人はありませんでした。午前3時10分ごろ、北九州市門司区沖の関門海峡東口で、カンボジア船籍の貨物船HAODA6(1496トン)から、関門海峡海上交通センター(同区)に「火災が発生している」と無線で連絡がありました。門司海上保安部の巡視艇など4隻と市消防局の消防艇1隻が消火にあたり、約6時間後、火の勢いは収まりました。貨物船は千葉港から中国・浙江省の寧波へスクラップ980トン運ぶ途中だったそうです。この積み荷から出火したとみられるようです。

2012年10月9日 豊橋

中国からの貨物船(三河港行き)の積み荷が炎上しました。9日正午頃、愛知県豊橋市の三河港船渡ふ頭3号岸壁に着岸していたカンボジア船籍の貨物船「HAI XIN(ハイシン)1」号(1248トン)から、「積み荷から出火している」と通報がありました。三河海上保安署などの発表によりますと、同船は中国浙江省の港から同日朝に着岸し、家電や自動車のスクラップを積み込む作業を行っていたようです。中国人乗組員10人は全員避難してけがはありませんでした。この問題は私たちがいろいろな物を廃棄する その時点から様々な問題が発生する恐れがありそうですね！(その方法や業者の選択など) **大きな被害や死傷者の出ていない今、解決の糸口が見つければ良いですね！**



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

